宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドラインについて

大会宿泊につきまして、宿泊地はビジネスホテルなどがほとんど無く民宿・旅館が中心となります。
コロナ対策として、旅館・民宿の宿泊は、各客室３名程度の利用を原則とします。
※部屋の大きさによって定数は異なります。宿の指示に従ってください。
宿泊される選手の皆様は、しっかりとしたコロナ対策・体調管理・チェックシート記入を行って大会に参加されると思われますが、宿泊施設についても万全なコロナ感染対策を行い選手の皆様を受け入れたいと思います。参加されます選手の皆様につきましてもご協力をよろしくお願いいたします。

１．留意すべき基本原則
・従業員と宿泊客及び宿泊客同士の接触をできるだけ避け、対人距離（できるだけ１ｍ以上）を確保する。
・感染防止のため宿泊客の整理（チェックイン・アウト時に密にならないようにする）
・入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
・施設及び客室の換気
・施設内の定期的な消毒
・宿泊客へ定期的な手洗い・消毒の要請
・従業員の毎日の体温測定・健康チェック

２．各エリア・場面での共通事項
・他人との共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする。
・複数の人の手が触れる場所を定期的に消毒する。
・手洗いや手指消毒の徹底を図る。
・宿泊客や従業員がいつでも使えるようにアルコール液を施設内（客室、風呂、共用トイレ等）に設置する。

３．食事関係
・従業員のマスク（適宜フェイスシールド）着用
・宿泊客に食事開始までマスク着用を要請
・入場時。手洗い又は手指消毒の徹底
・席に余裕がある時は斜め着席の推奨、テーブルの間隔を広げる
・会場の換気強化
・自席で食事中以外のマスク着用を要請